

予防技術資格者に係る資格取得支援事業の概要及び予防技術検定準

備講習会の結果について

— 消防支援室 —

1 はじめに

予防技術資格者制度は、予防行政の根幹を支える制度として、消防力の整備指針(平成 12 年 1 月 20 日消防庁告示第 1 号)が平成 17 年に改正され、各消防本部及び消防署には予防技術資格者を一人以上配置するものと規定されました。(第 32 条第 3 項)

平成 26 年の改正では、兼務の警防隊員が消防用設備等の設置が必要な防火対象物に立入検査を実施するに当たっては、予防技術資格者である警防要員を充てることとされました。(第 33 条第 4 項)

しかしながら、近年、予防業務に関する豊富な知識、技術、経験を持つ予防技術資格者の大量の退職に伴って、消防本部によっては予防業務の継続性及び予防技術・知識の低下が憂慮される事態になっております。

このような現況に鑑み、予防技術資格者の充足が喫緊の課題であることから、一般財団法人消防防災科学センター（以下「当センター」という。）では、総務省消防庁、全国消防長会、各消防本部等のご指導、助言をいただき、平成 28 年度から予防技術資格者の資格取得支援事業の一環として、予防技術検定受検者開拓と合格率向上のために予防技術検定学習テキストとして「共通科目編」、「防火査察科目編」、「消防用設備等科目編」、「危険物科目編」の 4 種類を作成し、予防技術検定を受検する方々に提供させていただいております。

当センターでは、全国消防長会のご協力を得まして、令和 3 年度は全国 9 ブロック 23 箇所で開催したところでは、

2 予防技術検定の概要

(1) 予防技術資格者とは、

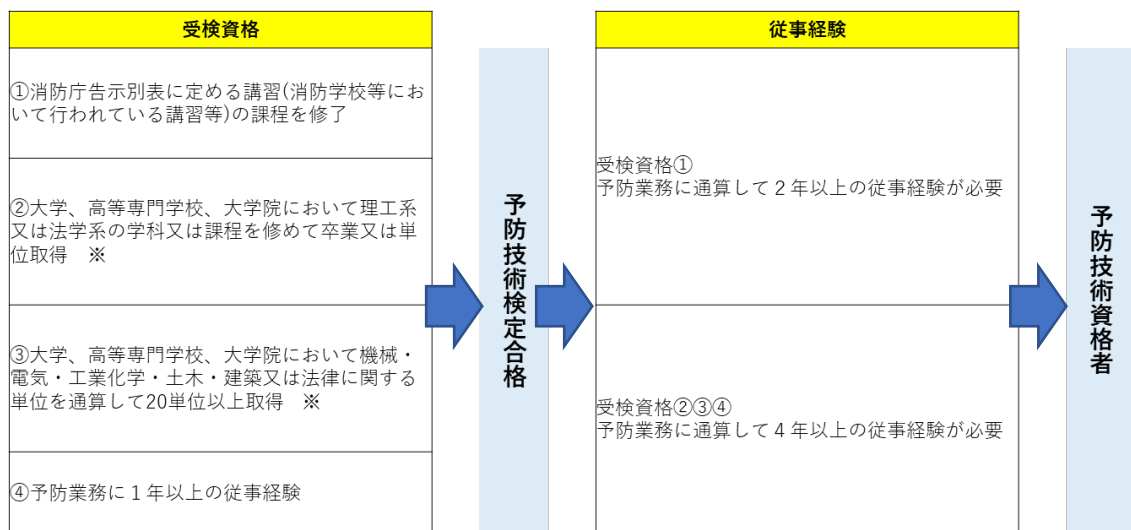
消防本部及び消防署には、建築物の大規模化・複雑化等に伴い高度化・専門化する予防業務を的確に行うため、火災の予防に関する高度な知識及び技術を有する「予防技術資格者」を配置することとされています。

(2) 予防技術検定とは、

予防技術資格者になるためには、予防技術検定に合格する必要があります。

(3) 予防技術検定の受検資格

予防技術資格者になるための受検資格と予防業務従事経験は、次のとおりです。



※ 消防職員以外の者でも可

注) 上記従事経験については、受験の前後を問わない。

3 受験準備講習会の開催状況

令和3年度の開催状況は、表2のとおりです。

表2 令和3年度開催状況

ブロック名	開催場所	防火査察科目	消防用設備等科目	危険物科目	参加人員
北海道	札幌市、函館市	58			58
東北	仙台市、福島市 新潟市	60	58		118
関東	土浦市、成田市 さいたま市 宮代町、横浜市	101	82	39	222
東海	浜松市、岐阜市 四日市市	68			68
東近畿	草津市、奈良市	28	26		54
近畿	豊中市、堺市 尼崎市	81	39	34	154
中国	岡山市、下関市	18	26		44
四国	徳島市	19			19
九州	筑紫野市 鳥栖市	39	30		69
小計		472	261	73	806

追加分 関東	宮代町、常総市 佐倉市	162			162
合 計		634	261	73	968

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各会場とも大幅に収容人員が制限され、受講希望者の要望に添うことができませんでした。なお、消防本部のご理解・ご協力を得て、同一開催地で複数回実施したケースがありました。

4 令和3年度の予防技術検定の結果

令和3年度予防技術検定の受検者数、合格者数等については、次のとおりです。

検定区分	受検申請者数	受検者数	合格者数	合格率
防火査察	4,773 名	4,548 名	1,711 名	37.6%
消防用設備等	2,622 名	2,506 名	1,093 名	43.6%
危険物	2,250 名	2,123 名	1,266 名	59.6%
合 計	9,645 名	9,177 名	4,070 名	44.4%

5 準備講習会受講者の感想

札幌市消防局

受検区分：「防火査察」

氏名：飯島 慎也



感想文

私は令和2年4月から消防署の予防課に配属になり、それまで在籍していた警防課とは異なる事務や知識に戸惑いながら業務を行う中で、日々知識不足であることを痛感しており、「まずは身近な査察業務に絞って学習したい」「学習するからには目標を持ちたい」と感じたことが、予防技術検定を受検した動機となりました。

事前準備の段階において、市販テキストを中心に学習をしていましたが、消防防災科学センター主催の「予防技術検定受検準備講習会」が無料で受講できることを知り、参加しました。当該講習会では、独自テキストと練習問題を中心に、その場で演習と解説を繰り返し行うことで効率良く知識を蓄積できたと思います。

検定当日についても、問題の解き方や回答のスピード感を当該講習会で身に付けることができていたため、無事合格することができたと思っています。本検定の受検及び当該講習会への参加は、予防業務の知識を深める上で良いきっかけになったと思います。

福島市消防本部

受検区分「防火査察」

氏名：鈴木 一磨



感想文

過去の予防技術検定で「防火査察」を受検し、合格することができなかったため、今回受検させていただくにあたり、学習の計画や方法などに不安がありました。以前まで私が行っていた市販の参考書を活用し、問題数をこなす学習方法が自分に合っているのか疑問を感じていたため、思い切って先輩職員に助言を求めました。そこで知ったのが消防防災科学センター主催の「予防技術検定受検準備講習会」でした。講習ではテキストに沿って予防技術検定に出やすい箇所や注意すべきポイントなどを講師の方が分かりやすく説明してくださるので理解を深めることができました。その上で過去問や類似問題を解くことにより予防技術検定の出題傾向が徐々に分かり、効率の良い学習に繋げることができました。

最後に、今回の受検を通して目標を持ち、それに向かって努力する大切さを改めて実感しました。今回の結果に満足することなく、中堅職員としての役割を果たし、職務を全うしていきたいと思います。

受検区分「防火査察」

氏名：伊藤 勝史



感想文

平成29年度に消防用設備等、平成30年度に危険物の検定科目に合格し、令和元年度に現場職から本部予防課へ異動となり、現在消防設備の担当として3年間勤務をしています。

その経験を活かして今回残りの1科目である防火査察を受検する決意をいたしました。

今回は予防技術検定の準備講習会が福島市の会場で行われることもあり、科目が防火査察であることからまさにいい機会だと思い、講習会を受講しました。担当していただいた講師先生から過去の予防技術検定の出題傾向を基に、重要なポイント及びアドバイスをいただき、自分の中でどのように学習するかイメージを湧かせることができました。

その後、講習会でいただいたテキスト及び過去問題集をはじめ、防火査察に関するテキスト等を活用しながら学習し、理解ができない部分は上司に教わりながら理解度を深めました。その甲斐もあって、受検当日は自信をもって予防技術検定に挑むことができ、結果合格することができました。

今回の受検にあたりサポートいただいたみなさまに感謝し、学習をとおして得た知識を忘れず、今後の消防業務に活かしていきたいと思います。

埼玉東部消防組合消防局

受検区分：「危険物」

氏名：山岸 裕介



感想文

まず初めに、このような貴重な機会を設けてくださり、誠にありがとうございました。

前回、「防火査察」の予防技術検定を受検するにあたり、本講習を受講させていただき、非常に有意義な研修であったと感じたので、今回、「危険物」の講習を受講させていただきました。

講習内容は、予防技術検定学習テキストをもとに、法令解説や最近の予防技術検定の傾向及びその対策など、とても解りやすい内容でした。また、講師の経験談も聞くことができ、合格への手助けになったことはもちろん、日々の予防業務への理解も深まりました。

今回、「防火査察」、「消防用設備」の講習を受講した他の職員からも、その後の学習に大変参考になり、有意義な講習会であったと聞いております。

また、テキストも要点などが解かりやすくまとめられており、日々の業務においても活用させていただいています。

今後とも、今回の受講を通して習得した知識を、今後の予防業務に活かし、さらなる知識の向上に努めていきたいと思います。

受検区分：「防火査察」

氏名：鈴木 健生



感想文

私が予防技術検定受検準備講習を受講した理由は、自身が予防業務に携わることが多いことから、知識の向上を図る予防技術検定を受検するためです。

私の学習方法は、約4か月前からテキストを熟読し問題集を解くという方法でした。問題集では、1問が4択の問題ですが、答え合わせ時に4択問題の全てについて、何が合っていて何が間違っているかを理解してから次の問題に進むという方法で学習をしました。

今回、当組合において、消防防災科学センターが主催する予防技術検定受検準備講習会が開催されると知り、はじめて参加させていただきました。講習会では、重要なポイントや出題傾向などを知ることができ、合格へのきっかけとなりました。

実際の予防技術検定は難しく感じましたが、準備講習を受講するなどして十分な準備をすることができたこともあり、問題の答えを確実に絞ることができました。今回の予防技術検定で学習した知識を忘れることがないように、これからも勉強を継続し、職務に活かしていきたいと思います。今後は、消防用設備等、危険物にも挑戦し、合格できるよう自

己啓発に努めたいと思います。

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

受検区分：「防火査察」

氏名：宮田 兼太



感想文

私は、消防士を拝命して12年目になります。現在は、消防本部総務課に勤務しており、主に経理関係の事務に従事しております。この度、予防技術検定を受検するきっかけとなったのは日々高度化する予防行政において、一消防士である私が、いざ査察を行う責任者になった時のことを考えると、その責務の重大性から大きな不安を感じたため、資格取得を目指すことにしたものです。立入検査において、事業所の不備事項に対する指導を消防吏員が怠り、従業員並びに住民の命に危険を及ぼすようなことは絶対にあってはなりません。本検定に取り組むことが、防火査察業務の根幹的な知識の習得に繋がるものと考え受検を志願したところです。

当初は検定対策として、市販されている参考書や問題集を活用していましたが、それだけでは理解が深まらず悪戦苦闘していたところ、消防防災科学センターが主催する講習の開催案内がありましたので直ぐに受講を申し込みさせていただきました。当日の講習会では講師の方々より、消防法令に関しての知識が浅い私たちに分かり易く、そして丁寧に解説しながら教えていただき、私にとっては大変有意義な講習になりました。特に準備講習会のテキストは項目ごとに要点が抑えられている充実した内容になっており、講義と併せて活用することで、一段と理解を深めることに繋がるものでした。正に合格の近道になった講習会であったと改めて感謝しております。

今後、本講習を通して習得した知識を十分に活かし、現場での防火査察を含めた予防業務全般に尚一層邁進して行きたいと思います。

逗子市消防本部

受検区分：「防火査察」

氏名：石川 卓也



感想文

今回、私は初めて予防技術検定を受検するということもあり、予防技術資格者である同僚から話を聞いていたところ、こちらの準備講習を勧められましたので、受講させていただきました。

講習で使用するテキストや練習問題等の資料は要点がまとまっており、講師の説明が加わることでより理解が深まったと思います。テキストについては、予防技術検定直前まで活

用させていただき、効率よく勉強することができました。今でも業務中に確認したいことがあれば開くこともあります。

受検勉強をする過程で、基本的な内容の再確認や、複雑と感じていた違反処理の流れまで必要な知識を学ぶことができたのは、予防業務歴の浅い私にとって良い機会となりました。

そして今回、無事に合格できたことは、自信に繋がったとも思います。

今後、他の区分を受検する機会がありましたら、その時はまた準備講習に参加させていただきたいと思います。

豊中市消防局

受検区分：防火査察

氏名：木村 和也



感想文

私は、普段、警備係として勤務しておりますが、このたび、予防技術検定を受検させていただくことになりました。中堅幹部として、更なる知識習得と技術向上をすべく積極的に勉強に励みました。

受検するにあたり、消防防災科学センターの受検準備講習に参加しました。1日を通しての講習ではありましたが、講師の方が経験された悪質な違反対象物に対しての是正指導の体験談等も聞くことができ、飽きることなく受講でき、予防技術検定受検対策の一助となりました。

準備講習では練習問題を実施する時間はあまりなかったため、テキスト、問題集及び消防基本六法による自学自習も合わせて、受検対策を行いました。

結果、今回の検定を合格することができました。今後は、受検講習で教えていただいた実体験等を参考にし、予防技術資格者として、内容の濃い『査察』をするだけでなく、人材育成にも積極的に取り組み、組織の予防技術向上に取り組んでいきたいと思います。

受検区分：防火査察

氏名：北落 雅己



感想文

予防技術検定、防火査察の受検に伴い、当市で開催された準備講習に参加しました。講習では講師の方が出題頻度の高い順に説明されており、学習をする上で優先順位を確立させ効率的かつ計画的に学習することができました。また、予防業務の経験が乏しく、法令読解が苦手な私にとって、予防経験が豊富な方からの解説はとても参考になり、学習の質の向上にも繋がりました。

当市消防局では、組織における予防技術の底上げを図るため、予防技術資格者の養成に力を注いでおり、今回の準備講座においても、多数の職員が参加しました。準備講習でインプットした内容を講習後に受講者同士でアウトプットすることにより、知識の定着に繋がり、合格することができたと感じております。

最後になりますが、今回得た防火査察に係る知識を日々向上させ、予防業務に活かしていきたいと思います。

鳥栖・三養基地区消防事務組合

受検区分：「防火査察」

氏名：鮫島 良太



予防技術検定準備講習会を受講して

予防業務に携わることが2年目となった今年度、査察の際の適正な指導や各種届出業務の遂行、モチベーション向上を動機に予防技術検定の受検を決意しました。

幸いにも所属本部から公費での受検、時間外勤務手当での消防防災科学センター主催の受検準備講習会の受講や、予防技術検定当日の受検といったバックアップを頂きました。講習会では、センターから派遣された講師による、予防の基礎から違反処理の流れまで、事例を交えた説明があり、とても分かりやすくとても有意義な時間となりました。重点的に教えて頂いた内容の出題も多く、受検準備講習会の受講によって合格できました。

所属本部には予防技術検定全てを合格し、予防技術資格者として日常の予防業務に従事する上司や先輩方がおられ、知識量の凄さに敬服いたします。地域の安心・安全のため日々適正な業務を遂行する身近な方々を目標に、自身も研鑽を重ね今後ステップアップしていく考えです。

受検区分：「防火査察」

氏名：鶴田 文哉



予防技術検定受検準備講習会を受講して

予防業務に従事するなかで各種届出の処理や査察等を行う際に、知識不足を痛感することが多々ありました。そんな時、先輩方に予防技術検定は勉強になると勧められ受検を希望しました。予防技術検定の防火査察を受検するにあたりテキスト等で知識の取得を試みていましたが、理解を深めることが難しく過去問等を解いたりしましたが、中々点数が上がりませんでした。

今回、予防技術検定準備講習会を受講し、講師より、法令を正しく知ること、法令のでき

た背景、予防の基礎、違反処理など、実際にあった事例などを基に教えていただき、知識の習得及び理解を深めることができ、検定時は自信を持って回答し合格することができました。これは、受検準備講習会を受講したことにより効率よく学習ができたからです。

予防技術検定にて学んだ知識を活かし、これからも日々研鑽を積み知識を深めることにより、各種届出の処理、査察等において適切な業務を遂行していきたいです。

6 おわりに

予防行政の中核を担う予防技術資格者の確保及び資質の向上が急務であることから、センターでは、消防庁のご指導の下、全国消防長会、各消防本部と連携するとともにご協力を得て、引き続き資格取得の支援を行ってまいりますので、今後とも当センターに対するご支援、ご協力をお願いいたします。



予防技術学習テキスト



講習風景